

木造住宅の耐震診断

～木造住宅耐震診断士派遣制度の御案内～



川崎市が**無料**で耐震診断士を派遣します。

昭和56年5月31日以前に建てられた建築物は耐震性が低い可能性があります。一度、耐震診断を受けてみましょう。

川崎市では以下の条件を満たしている住宅の耐震診断に対し、**無料**で耐震診断士を派遣しています。（耐震診断士とは、川崎市が耐震診断士として登録した建築士の資格を持つ専門家です。）

対象建築物

- 昭和56年5月31日以前に建てられたもの
- 木造2階建て以下のもの（一部鉄骨造等の混構造は対象外）
- 住宅（一戸建て住宅、共同住宅又は長屋（店舗等の用途を兼ねるものを含む。））
- 木造在来工法のもの（ツーバイフォー工法・パネル工法は対象外）

ただし、以下に該当する場合は対象外となります

- 以前に市の制度を利用して耐震診断を行ったもの

対象外の場合には次の窓口で相談することができます。

（一財）川崎市まちづくり公社ハウジングサロン

電話 044-822-9380

（一社）川崎市建築設計事務所協会

電話 044-201-9201

耐震診断の流れ

オンラインでも申請可能です
QRコード⇒



耐震診断の申請

…川崎市木造住宅耐震診断申請書を郵送又は市役所の防災まちづくり推進課の窓口へ提出してください。
（受付期間：毎年度4月～11月末）

1ヶ月程度

… ※ 申請の受付状況によっては、さらに時間がかかる場合があります。

診断士の派遣決定

…申請日から約1か月後に、申請者あてに木造住宅耐震診断士派遣決定通知書を送付します。その後、この通知書に記載されている耐震診断士から連絡がありますので、現地調査の日程等の調整を行ってください。

45日以内

診断士の現地調査

（2～3時間程度）

…日程調整された日時に、耐震診断士が申請住宅を調査します。

… ※ 現地調査の結果、申請住宅が対象建築物に該当しない場合は、制度対象外と判断させていただくことがあります。

1ヶ月程度

診断結果の報告

（2～3時間程度）

…耐震診断士が申請者のお宅等に伺い、作成した耐震診断報告書の内容を、わかり易く説明します。

耐震改修工事の検討

…耐震診断報告書の内容を踏まえ、耐震改修を検討する場合は、裏面の「連絡先」へお問い合わせ下さい。川崎市では耐震改修工事等にかかる費用の一部を助成する制度があります。

耐震診断とは

耐震診断とは、建築物が大きな地震（震度6強程度）に耐えられるかどうかを診断するもので、以下の式により判定します。

$$\text{上部構造評点} = \frac{\text{保有耐力（建築物の現在の耐力）}}{\text{必要耐力（大地震に耐えるのに必要な耐力）}}$$

上部構造評点	判定
1.5 以上	倒壊しない
1.0 以上～1.5 未満	一応倒壊しない
0.7 以上～1.0 未満	倒壊する可能性がある
0.7 未満	倒壊する可能性が高い

耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満だった場合は、建替えや耐震改修工事などの対策を検討しましょう。

木造住宅耐震診断士派遣 決定通知書

川崎市木造住宅耐震診断士派遣決定通知書

川崎市住宅 防災課

申請者住所
申請者氏名

1 申請建築物
所在地 川崎市 区

2 耐震診断士

診断士 氏名	
診断士 事務所	
診断士 連絡先	

3 注意事項
 (1) 本通知書、上部構造耐震診断の申請書類等が到着しますので、診断日について記載していただきます。
 (2) 上記の耐震診断士については、変更が希望される場合は必ず1週間前までに川崎市に申し出ることとなります。
 (3) 本通知日から起算して15日以内に耐震診断を受けるようお願いいたします。なお、申請を行った年度が12月31日までに完了できない場合は、耐震診断を行わないこととなります。
 (4) 現地調査の結果、申請要件に該当しない建築物の場合は、耐震診断を行わないこととなります。

申請者の皆さんに派遣する診断士の名前と連絡先を市から通知します。

耐震診断報告書

1 総合評価(診断結果)

申請者住所
申請者氏名
TEL

2 診断結果

部位	状況	判定	参考事項
基礎	基礎の耐震性能が不明である 地盤が軟弱である 特別な対策が行っていない		
柱	柱の耐力不足 柱の耐力不足 特別な対策が行っていない		
梁	梁の耐力不足 梁の耐力不足 特別な対策が行っていない		
壁	壁の耐力不足 壁の耐力不足 特別な対策が行っていない		
床	床の耐力不足 床の耐力不足 特別な対策が行っていない		
屋根	屋根の耐力不足 屋根の耐力不足 特別な対策が行っていない		

3 上部構造の耐力

上部構造評点の算出値	判定	参考事項
0.23	倒壊する可能性が高い	

4 補強工事費

補強工事の概算費用(百万円)	補強工事の種類	概算費用(百万円)
38	基礎補強工事	40
24	柱補強工事	26
180	梁補強工事	230
242	壁補強工事	296

診断結果から、建築物の現状の評点と参考として補強工事の概算費用がわかります。

問合せ・申込み先 川崎市 まちづくり局 市街地整備部 防災まちづくり推進課 耐震化支援担当
 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 電話 044-200-3017